

## 議会報告会 報告書

彦根市議会議長 和田 一繁 様

広聴委員会  
伊藤 容子

開催日時	令和8年 1月 8日 (木) 9時50分 ~ 11時03分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名(役割) 奥野議員(聞き手)、伊藤議員(聞き手&記録)
参加者数	4組4名
内容	A ・新ごみ処理施設の事業内容や、現ごみ処理施設の状況の広報がこれまでされてなく、今後注力してほしい(広報ひこね、SNS等の各種方法にて) ・小学校の建物(校舎・体育館)が明らかに古く、県内他市町では見たことがない状況であり、子ども達のために整備してほしい ・企業誘致を積極的にしてほしい B ・朝ラジオ体操をしている。市内を歩いており健康で過ごしている。健康の為に議員もラジオ体操に参加し、またそこで市民の声に耳を傾けてはいかがか。 ・原発の方が一の時が心配だ。 ・市内は寺も多く、市民の倫理観を育むようになったらよい。 ・道路のデコボコをなんとか解消してほしい。少しのデコボコでも高齢者は転んでしまいます。 C ・各議員は紙媒体で議員活動を広報してほしい。(ネットは見ない) ・世界遺産登録推進は、「登録」が目的化している。必要なのは彦根市の未来の全体像であり、その未来像についての議論が大切である。これから目指すのは観光都市なのか、または大学等とも連携した文化都市なのか、この未来像を議論して市・市民ともども共通の未来像をもった上で世界遺産登録を推進するべきだと思う。そうでなければ世界遺産登録に費やした費用や時間が無駄で将来世代に負担となる世界遺産登録になると考える。

- ・議員は地元だけの利益を追求するのではなく、市全体の利益が軸にあってこそ議員活動であってほしい。
- ・田島市長には大久保市長の「福祉日本一」のように、将来めざす彦根を示してほしい。
- ・副市長の人事に反対した議会の様子はいやがらせのようで市民として情けない。

D

- ・北川議員の Youtube をたくさん見ている。昨年の財政説明会に参加して、市の財政状況を知り、本当にこれからの市の財政が心配になった。
- ・議会での職員を守るとした条例の文言追加に対して修正案を出した公政会の意図は何か。市民としては、議員は職員と仲良くしてほしい。
- ・彦根市が儲ける提案をしているのか
- ・吉田学園が来なくなって残念。  
(生徒さんが来てバイトなどもして町も活気があっただろう)
- ・彦根市は昨年から公会計を導入しているのではないか。公会計を導入してほしい。

主な質疑応答および考察

今回は市民の方々のお声をお聞かせいただくことが目的で、それぞれの思いを伺いました。

新ごみ処理施設整備事業や現ごみ処理施設について関心も高く、正確な情報を市や議会（議会だよりなど）で発信し広報してほしいとのご要望が大きいことを感じた。

世界遺産登録は手段であり、本来の目的は彦根市の未来像を描き、その未来像に向かって進むことである。この彦根市の未来像について市長をトップに議会・市民がともに前に歩みを進めることを市民の方々は望んでおられると感じ、議会ではこの未来像について市と議論をしていき、着実に同じよりよい未来像を持ち歩調を合わせ協力することを求められていると感じた。

公会計については、市から議員には情報提供がなされていないことをお伝えし、直近もこれまで通りの決算書や資料が使用されたことをお伝えした。また市の収入になる財源として、ふるさと納税で獲得した増収は、獲得した額（必要経費は控除）だけ収入になること、現在も好調に推移している状況を説明した。また今後は対象商品の偏りをなくし、商品提供先の状況の変化（商品提供がなくなる等）にも柔軟に対応した、複数の魅力ある商品の開発などで安定した収益増が見込める商品供給体制が必要であること、またふるさと納税は総務省が作成したルールで行うため、今後のルール変更の際に、本市の事業財源が足りなくなる事態を回避するためにも、ふるさと納税で得た資金使途をよく考えた財政運営をしなくてはならないことをお伝えした。

	<p>また、職員を守るとした彦根市議会議員政治倫理条例の条項への文言追加への公政会の修正動議の意図として、議会での趣旨説明の概要をお伝えし、議会の動画でも確認して頂けることをお伝えした。</p>
--	---

# 議会報告会 報告書

彦根市議会議長 和田 一繁 様

広聴委員会  
馬場 和子

開催日時	令和8年 1月 8日 (木) 11時00分 ~12時00分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名(役割)
	馬場 和子議員 (対応・記録) 安澤 勝 議員 (対応)
参加者数	2組2名
内容	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・広域ごみ焼却場について</li><li>・彦根市と広域行政組合との関係性について</li></ul> <p>→彦根市議会から10人の議員が広域行政組合の議会の議員として協議検討の場に臨んでいること。</p> <p>獅山前彦根市長時代には広域行政組合で議論すべきこととして本会議等での質問への答弁はなされていなかったが、彦根市にとっても大きな事業であることから本来は広域行政組合での議論が主としながらも近年は彦根市議会での質問に対して担当部長から答弁が行われるようになってきていると説明。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・埋め立てごみの処理方法は</li></ul> <p>→いったん愛荘町のリバースセンターに搬入し、手作業を中心に分別後、三重中央処理場へと搬出している。</p> <p>鳥居本地先での埋め立てごみの処理場のこともあり、キャパは無限ではないため減量や分別が不可欠であり市民の協力が必要であることも説明。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・財源確保の観点からの企業誘致が進んでいない現状について</li></ul> <p>→彦根市は周辺市町に比べて土地利用変更に係る規則が厳しいことも企業誘致が進んでいない理由の一つとも考えられる。</p> <p>法人税の五年間の免除や減額など、独自の支援策を打ち出すことも検討していかなければ都市間競争に打ち勝てない可能性はあると説</p>

	<p>明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化について</li> </ul> <p>→学校施設のみならず、彦根市内の公共施設については施設の利用度合いや改修のための費用などを勘案し、代替えの施設があることの確認ができた施設は財政が厳しいこともあって閉じていく方針であることを説明。</p> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル事業に市が撤退した理由は</li> </ul> <p>市のホームページへの掲載もなくなり彦根駅からの動線上の案内もないことから利用者が低迷状態となっている。</p> <p>事業を継続していくためにも彦根駅の改札前に案内看板の設置やホームページへの掲載をお願いしたい。</p> <p>→平和堂 HATO スタジアムでの試合観戦時にもレンタサイクルが利用できることなども提言に盛り込んでどうかと助言した。</p>
<p>主な質疑応答および考察</p>	<p>1</p> <p>市民の最大の関心事が広域でのごみ処理場であり、また、相次ぐ公共施設の廃止など直近の話題から公共施設の在り方に強い関心を持っておられることが確認できた。</p> <p>新聞等でしか情報を得られず「財政が厳しい」だけでは説明が足らず「なぜ、財政が厳しい状況になっているのか」「財政難から脱却するためには、彦根市としてどのような方向性で進んでいくのか」「夢のない話ばかりではなく、彦根の未来に夢の持てる話をしなければ」との思いが募り広聴委員会としても財政報告会的なことを各地で開催していくことの必要性を感じた。</p> <p>2</p> <p>国宝・彦根城築城400年祭の開幕前年には、彦根を盛り上げ隊として多くの市民活動団体が市民創造事業を展開した経緯からも行政が手の届かない分野への民間の協力は貴重であり、市民活動が育ち難い彦根を返上すべく積極的な官民連携での彦根の元気創出の一例として継続する意欲をそがない対応が大事であることを再確認した。</p>

# 議会報告会 報告書

彦根市議会議長 和田 一繁 様

広聴委員会  
長崎 任男

開催日時	令和8年 1月 8日 (木) 12時00分 ~13時00分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名(役割)
	小川隆史議員(対応)、長崎任男議員(記録)
参加者数	3組5名
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・男女共同参画センター(ウィズ)の閉館について 閉館しないでほしい 代替施設がない 指定管理以外の代替案はないのか(代替案の回答がない)</li><li>・新ごみ処理施設について なぜ、今、燃焼式なのか 市長からの説明がない</li><li>・レイラック滋賀FCについて もっと市民に盛り上がりて欲しい 実際にスタジアムに足を運んで意識が変わった</li><li>・公会計について 公会計の成果表を出して欲しい 田島市長に対してもっと厳しく追及して欲しい</li></ul>

<p>主な質疑応答および考察</p>	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ウィズの閉館の代替案は</li><li>・結論を3か月延長するということは期待してよいのか</li><li>・新ごみ処理施設は何故燃焼式なのか</li><li>・市長から市民に説明がないのは何故か</li><li>・レイラック滋賀FCのホームタウンとしてもっと盛り上がるべきでは</li><li>・公会計を導入しないのは何故か</li></ul> <p>考察</p> <p>今回の広聴会を実施することで、議員や市長、執行部と市民の間にはまだまだ大きな隔たりがあると感じました。このような機会を複数回実施することで、市民の声なき声を救い上げるきっかけになればと思います。</p>
--------------------	---

# 議会報告会 報告書

彦根市議会議員 和田 一繁 様

広聴委員会  
角井 英明

開催日時	令和8年 1月 8日 (木) 13時10分 ~14時10分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名(役割)
	森田 充 議員 対応者 角井 英明議員 記録者
参加者数	1組1名
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>彦根市が夕張市のように財政破綻してほしくない。そのためにも議員には公会計について学んでほしい。子どもたちや孫にツケをまわしてはならない。</li><li>議員と気軽に話せる場をつくってほしい(回数、タイミングなど)。</li><li>何をやろうと考えているのか、何をやったのか等、各議員のアウトプット(取組み)を知りたい。YouTubeでの発信もしてほしい。</li><li>文化プラザやごみ処理施設等の老朽化が心配だ。</li><li>自分も含め若い世代が市政に関心を持つことが大事だと思う。</li></ul>
主な質疑応答および考察	<ul style="list-style-type: none"><li>「持続可能な彦根市を目指す」のテーマに沿った対話になった。</li><li>広聴委員会に所属しているすべての議員と話がしたいということのようで、最終の部まで残ってくださった。</li><li>市政に強い関心を持っておられて、市の財政を立て直すには議員が公会計を勉強したり、財政説明会へ参加すべきだ等の要望があった。</li><li>午前中の参加も多かったようで、市役所の方が前回の各公民館での実施より参加しやすかったのだろうか。</li><li>次回4月の議会報告会に期待されているようだった。期待に応えたいと思った。</li></ul>

# 議会報告会 報告書

彦根市議会議員 和田 一繁 様

広聴委員会  
馬場 和子

開催日時	令和8年 1月 8日 (木) 10時10分 ~11時00分
開催場所	彦根市役所1階 市民ホール
出席議員	議員氏名(役割)
	馬場 和子議員 (対応・記録)
参加者数	2組3名
内容	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市議会議員と県議会議員の関係性について</li><li>・彦根城の世界遺産登録の見通し</li><li>・国スポ・障スポによる効果とレガシーである施設等の活用の方向性</li><li>・広域ごみ処理施設建設の現状と今後の方向性</li><li>・財政が厳しい理由と公会計制度導入の必要性への見解</li><li>・副市長人事案がいったん否決後、可決になった経緯</li></ul> <p>市議会に対する提案</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市議会議員になった理由の確認</li><li>・個々の議員の発信不足で活動が見えない、もっと積極的な発信が必要ではないか</li><li>・選挙時に「〇〇します」ではなく「〇〇しました」の訴えも大事ではないか</li></ul> <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道の駅的施設の必要性について</li></ul> <p>鳥居本地域や稲枝地域で野菜などを生産しておられる方が、市場に出せないB級野菜などを販売するための道の駅的施設を設けてはどうかの提案</p> <p>団地内での無人野菜販売所が好評であることを一例に挙げられていた</p>

	<p>→琵琶湖をバイクで一周するピワツーに絡めて、道の駅的な複合施設についての質問の内容等を伝えた。</p> <p>また、衰退している銀座街の賑わいを取り戻す方策の一つとして軽トラ市などを行うことで市場に出せない野菜や漬物・味噌などの加工品の販売の場の提案も行っていることも申し添えた。</p> <p>・銀座街の変化と賑わい創出の方法の提案</p> <p>彦根一の繁華街であった銀座街は、以前は喫茶店などがあって賑わっていたが現在では空き店舗も増えシャッターを下ろし日中の人通りも激減しているが、ある喫茶店では高齢者を中心に多くの来客で賑わっている。</p> <p>認知症カフェには、市から補助金が出ているが街中の高齢者の集まる場所と機会を提供している団体や店にも補助はできないか</p> <p>→高齢者が社会参加のひとつとして集まれる場は重要である。</p> <p>今後どのようなことが彦根市としてできるのか高齢福祉推進課へも今回の事例を伝える。</p>
<p>主な質疑応答および考察</p>	<p>1</p> <p>政治や彦根市政への関心が高く、個々の議員の活動状況や発信況もよく調べられており「よりよい彦根市になってほしい」との思いの強さを感じた。</p> <p>可能な範囲で議会等での議論の経過や結果、出されていた様々な意見のことを説明したが、どの案件に対しても真摯に受け止めておられるように感じた。</p> <p>若い世代が彦根市政に関心をよせていただいていることは非常に心強く、若い世代の声を多くお聞かせいただくためにも「議会広聴の日」の開催曜日や時間帯を再考する必要があるのではないかと考えた。</p> <p>2</p> <p>街の活性化について農業施策面や農業従事者のやりがいにもつながることから、道の駅的な施設や銀座の賑わい復活の一助となる軽トラ市の提案などのこれまでの議会での提言内容を伝えることにより、何もしないで手を拱いている感の払拭はできたものとする。</p> <p>また今後、ますます進展していく高齢社会を見据えた高齢者施策への具体的な提案と受け止めた。</p> <p>地域の活性化と共に住んでいてよかった、住み続けたいと思っていただけるよう高齢者を大事にし敬うことを念頭に高齢者施策を温かみのあるものにしていくことの切実さを痛感した。</p>